

スウィートデュエルズ

(原文は英語)

ネルミン・デリッチ (22 歳)

ボスニア・ヘルツェゴビナ

ほとんどの人は、バルカン半島諸国と言えば「紛争」を思い浮かべるでしょう。そんな「死の地」と呼ばれるこのヨーロッパの半島に私は住んでいます。ここにある全ての国々は激動の過去を持っています。それぞれの国の人々は憎しみや怒り、悲しみをあらわにし、それによって世界中の人々はこの地に本当の平和が訪れることはないと思っています。実際、最後の紛争の終結から 23 年が過ぎているにも関わらず、私の国はいまだに厳しい状況です。

多くの人が家族または自分の体の一部を失いました。不幸なことに、私の父はどちらも失くしています。3 年という長い期間続いた戦争の最後の数カ月のほんの数日の間に、父は兄と右脚を失ったのです。父はお腹を空かせた幼い娘のために梨を拾おうとした際に対人地雷を踏んでしまいました。紛争が始まる前、父は将来有望なサッカー選手でした。当時、イタリアのサッカークラブの一つからスカウトを受けていたほどでした。今でも、この地域史上最も才能のあるサッカー選手の一人として知られています。しかし、父はイタリアでサッカーをする代わりに、身体障害者として車イス生活をする事になったのです。

街には同じような状況の人が何千といえます。そのため、外に出るとたくさんの目の見えない人や耳が聴こえない人、身体障がい者、精神的に不安定な人に遭遇します。ほとんどの場合、彼らは同じ診断を受けています。「戦争病」です。

このコミュニティを変えるために何かできることはないかと考えましたが、正しい方法が分かりませんでした。そこで、熱心に勉強し、小学校や高校では好成績を収めました。そして、母国の人々を助ける一番の方法だと考え、医学部に入ることに成功しました。現在、私は大学の医学部の 5 年生です。この国の医師には、より良い収入を求めて、他の裕福なヨーロッパの国々に出ていく傾向が見られますが、私は残ることを選びました。母国の人々を助ける方法を学ぶことこそが、私が変えたい唯一のことであり、彼らを残して国を去ることは私にとって「変えること」ではなく「降伏すること」になるからです。

また、健康というのは、身体の状態だけではないことも私は知っていました。そのため、自分の文才とコミュニティにおける人気を使って、永続的で拭い去ることのできないダメージや損失、弱さを全て抱えたまま前を向く方法を人々に教えることにしました。バルカン諸国の悪い関係を改善するため、この国の有名な若手アーティストの一人として、このコミュニティの中で新しいことを試みることに

しました。ですが、皆それぞれ異なる文化を持っていて、人生に対する考え方も様々であり、何よりも紛争に対する立場が違うため、大変な挑戦となりました。紛争に関わった人物が、ある人たちにとっては英雄でも、他の人たちにとっては殺人者になるのです。しかし、皆に共通することを見つけました。それは「寛大な心」です。実際、私がこの地域で起こしたいと思っている変化を起こせるのはアーティストたちだけであることも知っていました。

大きな決断でしたが、私は「スウィートデュエルズ（Sweet Duels＝善意の決闘）」というバルカン諸国において初となる詩のオンラインコンテストを設立しました。SNSで見られる憎しみのコメントの代わりに、平和の言葉を詩としてつづり続けるコンテストを始めることにしたのです。6年経ちましたが、1,000人を超えるバルカン諸国の詩人が参加するグループへと成長しました。とても人気があり、参加したい詩人がどんどん集まってくるため、毎年自信を持ってコンテストを開催しています。また、既に一冊の詩集をまとめ、それを販売しています。

他の人々の手本として、これを世界に広めたかったのです。なぜなら、芸術は必ず勝つからです。今となっては、文化の違いは私たちの強みになっています。

将来、世界の新聞で、「スウィートデュエルズ」をバルカン諸国の人々がその才能を表現し、その知識や経験をお互いに交換し合うためのプロジェクトとして取り上げた記事を読めたらと思っています。過去を変えることができなくても、未来を変えることはできるのです！ 私は詩人として、私の国の人々を「戦争病」から救いたいと思っています。そして、未来の医学博士としては、真の感情や知識、共感がその他の全ての病気を治すことができるということを知っています。私の方法でバルカン諸国を「死の地」から「スウィートデュエルズの地」へと変えていけると確信しています！